

2025年3月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2025年5月15日

上場会社名 アールビバン株式会社
コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司
定時株主総会開催予定日 2025年6月24日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-5783-7171
2025年6月25日

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	10,731	△2.5	2,113	△10.6	2,267	△22.3	1,266	△28.3
2024年3月期	11,006	2.6	2,364	5.2	2,919	38.9	1,766	30.5

(注) 包括利益 2025年3月期 1,177百万円 (△34.5%) 2024年3月期 1,797百万円 (29.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	130.61	—	8.1	6.6	19.7
2024年3月期	163.86	—	11.3	8.7	21.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	34,773	15,315	44.0	1,681.75
2024年3月期	34,234	15,888	46.4	1,548.77

(参考) 自己資本 2025年3月期 15,315百万円 2024年3月期 15,888百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	2,016	△447	△585	5,752
2024年3月期	△495	558	△779	4,773

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00	628	36.6	4.1
2025年3月期	—	30.00	—	70.00	100.00	913	76.6	6.2
2026年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00		—	

2025年3月期中間配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭
2025年3月期期末配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 記念配当40円00銭 合計70円00銭
2026年3月期中間配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭
2026年3月期期末配当金 (1株当たり配当金) の内訳: 普通配当15円00銭 特別配当15円00銭 合計30円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	△0.5	1,000	△15.7	1,000	△20.5	600	△28.2	65.88
通期	11,000	2.5	2,100	△0.7	2,050	△9.6	1,200	△5.2	131.77

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：有
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)			
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期	9,107,516 株	2024年3月期 12,963,816 株
② 期末自己株式数	2025年3月期	447 株	2024年3月期 2,705,147 株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	9,693,816 株	2024年3月期 10,783,643 株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 個別経営成績		(%表示は対前期増減率)							
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2025年3月期	7,782	2.6	1,487	△8.3	2,023	1.1	1,326	△1.1	
2024年3月期	7,588	9.8	1,622	54.6	2,000	79.5	1,340	63.3	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	136.85	—
2024年3月期	124.35	—

(2) 個別財政状態					
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2025年3月期	24,108	10,839	45.0	1,190.26	
2024年3月期	23,844	11,265	47.2	1,098.11	

(参考) 自己資本 2025年3月期 10,839百万円 2024年3月期 11,265百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(会計上の見積りの変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	13
(1株当たり情報の注記)	16
(重要な後発事象の注記)	16
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外情勢の不透明感、海外経済の減速、台風などの自然災害、物価高の影響があったものの、インバウンド需要の回復、企業の景況感、賃上げ等による個人の所得環境・雇用に改善がみられ、消費マインドも改善傾向にあり、景気は緩やかに持ち直しの状況が見られております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、2024年4月度よりスタートした第41期は、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、一段と事業運営に注力いたしました。

更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越しいただいており、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまいりました。

「健康産業事業」におきましては、溶岩ホットヨガ店舗を運営しておりますが、コロナ禍で大幅に減少した会員数を埋めるべく新規獲得と業績の回復を図り、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいりました。

この結果、売上高は10,731百万円（前期比2.5%減）となり、営業利益は2,113百万円（同10.6%減）、経常利益2,267百万円（同22.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,266百万円（同28.3%減）となりました。

売上高及び営業利益の減少の主な要因は、前期においては高額美術品の販売が474百万円あったこと、2023年12月に閉店したフィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」の売上がなくなったことによります。経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の減少の主な要因は、前期には前述の高額美術品の販売による利益があったことに加え、投資有価証券売却益が477百万円あったことによります。

事業の種類別セグメント業績は次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

しかしながら、売上高は8,092百万円（同0.3%減）、営業利益は942百万円（同23.4%減）となりました。売上高及び営業利益の減少の主な要因は、前期には高額美術品の販売が474百万円あったことによります。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業（以下、クレジット事業といいます）を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,666百万円（同1.6%増）となったものの、貸倒引当金の販売費及び一般管理費への計上額が多かったことにより、営業利益は1,027百万円（同10.5%減）となりました。

◆健康産業事業

ホットヨガ事業におきましては、2020年の緊急事態宣言等の影響により、休会・退会会員が多く発生し、会員数の厳しい状況が続いているものの、不採算店舗のクローズなども実施し、営業利益は徐々に回復してきております。

この結果、売上高は2023年12月に閉店したフィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」の売上がなくなったことにより999百万円（同21.9%減）となったものの、営業利益は88百万円（前期は64百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は29,681百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。これは主に、商品及び製品が458百万円、その他流動資産が349百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金576百万円、長期借入金1,493百万円の増加等により現金及び預金が979百万円増加したものであります。固定資産は5,092百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加しました。これは主に、その他投資等資産が253百万円、投資有価証券が117百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は34,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ539百万円増加いたしました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は16,474百万円となり、前連結会計年度末に比べ665百万円減少いたしました。これは主に、1年以内返済予定の長期借入金が576百万円増加したものの、短期借入金が945百万円、資産除去債務が247百万円減少したことによるものであります。固定負債は2,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,777百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が1,493百万円、資産除去債務が223百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は19,457百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,111百万円増加いたしました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は15,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ572百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益が1,266百万円あったものの、自己株式の取得が1,207百万円、剰余金の配当により利益剰余金が583百万円の減少があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は44.0%（前連結会計年度末は46.4%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ979百万円増加し、5,752百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,016百万円（前連結会計年度は495百万円の使用）となりました。これは主に法人税等の支払額1,089百万円の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益2,216百万円、棚卸資産の減少454百万円、前受金の増加262百万円、その他219百万円等の増加要因があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は447百万円（前連結会計年度は558百万円の獲得）となりました。これは主に貸付金の回収による収入2,209百万円の増加要因があったものの、貸付金による支出2,139百万円、投資有価証券の取得による支出368百万円、資産除去債務の履行による支出296百万円等の減少要因があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は585百万円（前連結会計年度は779百万円の使用）となりました。これは主に長期借入れによる収入3,700百万円等の増加要因があったものの、長期借入金の返済による支出1,629百万円、自己株式の取得による支出1,207百万円、短期借入金の純減額945百万円、配当金の支払額582百万円等の減少要因があったことによります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、米国の関税政策等、海外情勢や海外経済の減速、円安や資源高により製造業の減収懸念、物価高による個人消費の悪化懸念等により景気の減速が懸念されます。

このような状況のなか、当社グループは、1984年の創業以来、変わることなく、「心の豊かさ」を提案し続けてまいりました。アートやヨガ、ファイナンス事業によって、様々な刺激、感動を得て、生きる力を強め、喜びを深め、創造性を高めて、人間本来の本質・原点に立ち戻っていくことのお手伝いをし、幸福を広げる会社でありたいと考えております。

主力のアート関連事業におきましては、多くのアーティストを発掘し、広めてまいりました。1984年に創業後、1996年に業界初の上場を果たし、アート市場を切り拓いてきた開拓者であり、先導役であると自負しております。

「日本の文化水準を上げる」「日本全国に心の灯りをともし」「日本発のアーティストを世界に発信する」といった

当社がめざすビジョンにより近づけるよう、成長スピードを上げていきたいと考えております。

当社は、更に、事業運営に注力し、中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、「アート関連事業」及び「健康産業事業」において、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいります。

(2026年3月期連結業績予想について)

2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は11,000百万円（前期比2.5%増）、営業利益は2,100百万円（同0.7%減）、経常利益は2,050百万円（同9.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,200百万円（同5.2%減）を見込んでおります。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の減少の主な要因は、2025年3月期には保険解約返戻金143百万円があったこと、金利上昇による支払利息の増加を見込んでいることによります。

アート関連事業におきましては、引き続き、より多くのお客様に催事会場にお越しいただけるよう注力し、「絵のある豊かな生活（くらし）」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行うとともに、日本全体にアートに込められた力により「癒し、希望、元気」といったメッセージを一人でも多くの方に広めてまいります。

金融サービス事業におきましては、一般加盟店の顧客に対するクレジット事業の拡大を図るよう営業を強化してまいります。

健康産業事業におきましては、新型コロナウイルス感染症による会員数の減少により、会員数は依然として厳しい状況は続いておりますが、会員が増加に転じるよう、店舗やサービスの魅力の向上を図ってまいります。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

今後の状況の変化によって、今期の連結業績予想に関して、開示すべき重要な事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主価値の向上を経営の最重要課題として位置付け、将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に努めるとともに、安定的に可能な限り高水準な配当を行う事を基本方針とし、財政状況、利益水準、配当性向などを総合的に勘案して実施してまいりたいと考えております。

当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

これらの剰余金の配当の決定機関は、期末配当については株主総会、中間配当については取締役会であります。

2024年4月度よりスタートした第41期におきまして、上場20周年を迎えることができました。株主・投資家の皆様をはじめお取引先及び関係者の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

当期の配当金につきましては、株主の皆様方の日頃のご支援、ご協力に感謝の意を表すために、1株当たり60円（普通配当30円・特別配当30円）に上場20周年記念配当40円を加え、合計100円の配当（うち中間配当30円）を実施することを決定いたしました。

次期の配当といたしましては、株主の皆様方の日頃のご支援、ご協力に感謝の意を表すために、引き続き年間60円の配当を継続し、1株当たり30円の普通配当に特別配当30円を加算し、合計60円の配当（うち中間配当30円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的事業展開や資金調達を行っておりませんので、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年 3 月31日)	当連結会計年度 (2025年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,773,339	5,752,535
売掛金	15,887,713	16,013,774
商品及び製品	7,629,550	7,171,403
仕掛品	14,371	20,710
原材料及び貯蔵品	107,051	104,009
前払費用	225,708	200,810
その他	934,491	584,580
貸倒引当金	△91,149	△166,767
流動資産合計	29,481,076	29,681,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,151,576	1,204,755
減価償却累計額	△920,724	△955,209
建物及び構築物（純額）	230,852	249,545
土地	237,367	237,367
リース資産	35,972	816
減価償却累計額	△22,710	△816
リース資産（純額）	13,262	—
その他	349,347	347,708
減価償却累計額	△296,360	△294,386
その他（純額）	52,987	53,322
有形固定資産合計	534,468	540,235
無形固定資産		
その他	88,424	116,609
無形固定資産合計	88,424	116,609
投資その他の資産		
投資有価証券	2,219,376	2,336,716
長期貸付金	282,000	212,000
敷金及び保証金	215,917	229,854
繰延税金資産	252,803	251,867
退職給付に係る資産	20,783	11,904
その他	1,274,834	1,528,577
貸倒引当金	△135,640	△135,347
投資その他の資産合計	4,130,075	4,435,572
固定資産合計	4,752,967	5,092,417
資産合計	34,234,044	34,773,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,608	394,238
短期借入金	8,564,581	7,618,893
1年内返済予定の長期借入金	907,458	1,484,152
リース債務	10,967	24,144
未払法人税等	612,191	440,436
前受金	2,486,720	2,748,854
割賦利益繰延	2,785,509	2,836,292
賞与引当金	56,414	57,200
資産除去債務	277,753	30,556
その他	1,073,681	839,713
流動負債合計	17,139,887	16,474,481
固定負債		
長期借入金	1,045,901	2,539,490
リース債務	3,840	82,189
退職給付に係る負債	133,776	135,885
資産除去債務	—	223,920
繰延税金負債	19,435	—
その他	2,932	1,650
固定負債合計	1,205,885	2,983,135
負債合計	18,345,772	19,457,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,843,317	1,863,995
資本剰余金	5,098,196	1,920,378
利益剰余金	10,855,299	11,537,393
自己株式	△1,991,334	△367
株主資本合計	15,805,479	15,321,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,383	△12,476
退職給付に係る調整累計額	14,409	6,931
その他の包括利益累計額合計	82,792	△5,544
純資産合計	15,888,271	15,315,855
負債純資産合計	34,234,044	34,773,472

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	11,006,334	10,731,448
売上原価	3,902,711	3,559,703
売上総利益	7,103,623	7,171,744
販売費及び一般管理費	4,738,946	5,057,782
営業利益	2,364,676	2,113,961
営業外収益		
受取利息	5,470	8,567
有価証券利息	41,973	86,497
受取配当金	29,041	5,172
投資事業組合運用益	23,884	53,319
投資有価証券売却益	477,607	—
保険解約返戻金	—	143,925
貸倒引当金戻入額	—	293
為替差益	32,666	—
その他	18,396	17,239
営業外収益合計	629,039	315,015
営業外費用		
支払利息	68,825	84,534
投資有価証券評価損	—	36,456
貸倒引当金繰入額	1,473	—
為替差損	—	27,616
その他	3,660	12,662
営業外費用合計	73,959	161,269
経常利益	2,919,757	2,267,707
特別利益		
固定資産売却益	—	4,755
資産除去債務戻入益	60,780	—
特別利益合計	60,780	4,755
特別損失		
固定資産除却損	3,218	5,464
店舗閉鎖損失	57,280	4,940
減損損失	70,396	36,180
関係会社清算損	—	8,932
特別損失合計	130,895	55,517
税金等調整前当期純利益	2,849,641	2,216,945
法人税、住民税及び事業税	1,055,764	923,495
法人税等調整額	26,885	27,384
法人税等合計	1,082,649	950,880
当期純利益	1,766,992	1,266,065
親会社株主に帰属する当期純利益	1,766,992	1,266,065

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	1,766,992	1,266,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,604	△80,859
退職給付に係る調整額	△1,723	△7,477
その他の包括利益合計	30,881	△88,336
包括利益	1,797,873	1,177,728
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,797,873	1,177,728
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,826,649	5,102,494	9,573,532	△1,160,079	15,342,596
当期変動額					
新株の発行	16,667	16,667			33,334
剰余金の配当			△485,224		△485,224
親会社株主に帰属する当期純利益			1,766,992		1,766,992
自己株式の取得				△852,219	△852,219
自己株式の消却		△20,964		20,964	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16,667	△4,297	1,281,767	△831,254	462,882
当期末残高	1,843,317	5,098,196	10,855,299	△1,991,334	15,805,479

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	35,778	16,132	51,911	15,394,508
当期変動額				
新株の発行				33,334
剰余金の配当				△485,224
親会社株主に帰属する当期純利益				1,766,992
自己株式の取得				△852,219
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	32,604	△1,723	30,881	30,881
当期変動額合計	32,604	△1,723	30,881	493,763
当期末残高	68,383	14,409	82,792	15,888,271

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,843,317	5,098,196	10,855,299	△1,991,334	15,805,479
当期変動額					
新株の発行	20,678	20,678			41,356
剰余金の配当			△583,972		△583,972
親会社株主に帰属する当期純利益			1,266,065		1,266,065
自己株式の取得				△1,207,530	△1,207,530
自己株式の消却		△3,198,496		3,198,496	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	20,678	△3,177,818	682,093	1,990,966	△484,079
当期末残高	1,863,995	1,920,378	11,537,393	△367	15,321,399

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	68,383	14,409	82,792	15,888,271
当期変動額				
新株の発行				41,356
剰余金の配当				△583,972
親会社株主に帰属する当期純利益				1,266,065
自己株式の取得				△1,207,530
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△80,859	△7,477	△88,336	△88,336
当期変動額合計	△80,859	△7,477	△88,336	△572,416
当期末残高	△12,476	6,931	△5,544	15,315,855

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,849,641	2,216,945
減価償却費	122,925	99,543
減損損失	70,396	36,180
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,768	75,325
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,330	785
退職給付に係る資産・負債の増減額	△4,602	5,643
受取利息及び受取配当金	△76,485	△100,238
資金原価及び支払利息	100,161	131,155
保険解約返戻金	—	△143,925
投資有価証券売却損益 (△は益)	△477,607	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	36,456
投資事業組合運用損益 (△は益)	△23,884	△53,319
店舗閉鎖損失	57,280	4,940
固定資産売却益	—	△4,755
為替差損益 (△は益)	△33,149	27,616
売上債権の増減額 (△は増加)	△424,828	△126,060
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,962,007	454,849
前払費用の増減額 (△は増加)	△11,481	28,246
長期未収入金の増減額 (△は増加)	△6,730	—
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△20,810	△31,583
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45,229	29,629
割賦利益繰延の増減額 (△は減少)	66,084	50,783
前受金の増減額 (△は減少)	35,636	262,133
その他	318,358	219,967
小計	548,764	3,220,319
利息及び配当金の受取額	33,215	20,200
利息の支払額	△98,707	△134,503
法人税等の支払額	△978,827	△1,089,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	△495,555	2,016,916
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△25,014	△25,175
有形固定資産の売却による収入	—	6,552
無形固定資産の取得による支出	△67,348	△71,754
資産除去債務の履行による支出	—	△296,837
投資有価証券の取得による支出	△3,012,345	△368,265
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,621,406	149,448
貸付けによる支出	—	△2,139,750
貸付金の回収による収入	110,000	2,209,750
敷金及び保証金の差入による支出	△5,015	△7,810
敷金及び保証金の回収による収入	7,979	119,964
出資金の分配による収入	88,398	56,198
その他	△159,850	△79,428
投資活動によるキャッシュ・フロー	558,210	△447,105

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	348,808	△945,688
長期借入れによる収入	1,100,000	3,700,000
長期借入金の返済による支出	△853,915	△1,629,717
セール・アンド・リースバックによる収入	—	115,500
リース債務の返済による支出	△17,723	△23,973
長期未払金の返済による支出	△19,649	△11,636
自己株式の取得による支出	△852,219	△1,207,530
配当金の支払額	△485,230	△582,140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△779,929	△585,185
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,476	△5,428
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△706,796	979,196
現金及び現金同等物の期首残高	5,480,141	4,773,344
現金及び現金同等物の期末残高	4,773,344	5,752,540

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、店舗等の不動産賃貸借契約に基づく原状回復義務として計上していた資産除去債務について、直近の原状回復費用実績等の新たな情報の入手に伴い、店舗等の原状回復費用及び使用見込期間に関して見積りの変更を行っております。また、一部の原状回復費用の見積り額が、賃貸借契約に関連する敷金及び保証金の額を上回ることから、不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として償却を行っていた従来の簡便的な取り扱いによる処理から資産除去債務を負債計上する原則的な取り扱いに変更しております。

当該見積りの変更の結果、資産除去債務は93,396千円増加しております。なお、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に営業統括を置き、アート関連事業を中心に事業活動を展開しております。

従って、当社は営業統括を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「アート関連事業」、「金融サービス事業」及び「健康産業事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アート関連事業」は版画・絵画・美術品の購入及び販売事業、「金融サービス事業」は個別信用購入あっせん事業及び融資事業、「健康産業事業」はホットヨガの営業をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額（注 1, 2）	連結財務諸表 計上額（注 3）
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,114,973	1,611,806	1,279,554	11,006,334	—	11,006,334
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	28,266	—	28,266	△28,266	—
計	8,114,973	1,640,072	1,279,554	11,034,600	△28,266	11,006,334
セグメント利益 又は損失（△）	1,229,636	1,148,015	△64,252	2,313,399	51,277	2,364,676
セグメント資産	12,221,350	15,586,422	672,284	28,480,058	5,753,985	34,234,044
その他の項目						
減価償却費	50,286	4,146	68,492	122,925	—	122,925
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	38,110	63,210	1,665	102,986	—	102,986

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額51,277千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額5,753,985千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金（現金預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額（注 1, 2）	連結財務諸表 計上額（注 3）
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	8,092,082	1,639,912	999,452	10,731,448	—	10,731,448
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	26,666	—	26,666	△26,666	—
計	8,092,082	1,666,579	999,452	10,758,114	△26,666	10,731,448
セグメント利益	942,441	1,027,021	88,648	2,058,111	55,850	2,113,961
セグメント資産	11,001,791	16,042,313	382,375	27,426,480	7,346,992	34,773,472
その他の項目						
減価償却費	34,373	16,276	48,893	99,543	—	99,543
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	56,428	68,700	65,197	190,325	—	190,325

(注) 1. セグメント利益の調整額55,850千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント資産の調整額7,346,992千円は全社資産であり、親会社での余資運用資金（現金預金）及び長期投資資金（投資有価証券）等であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として、同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上を占める顧客が存在しないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	19,472	—	50,923	—	70,396

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	アート関連 事業	金融サービス 事業	健康産業 事業	調整額	合計
減損損失	—	—	36,180	—	36,180

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,548円77銭	1,681円75銭
1株当たり当期純利益	163円86銭	130円61銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	1,766,992	1,266,065
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	1,766,992	1,266,065
期中平均株式数(株)	10,783,643	9,693,816

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 役員の異動

役員の異動につきましては、本日別途公表しております「役員の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) その他

該当事項はありません。